

2024 年 2 月 21 日

No UP-37

「青年および事業のサポート年」における  
「ウズベキスタン 2030」戦略の  
実施に関する国家プログラムについて

『ウズベキスタン 2030』戦略で定められた広範囲な改革を 2024 年に効率的に実施し、国民の日常生活における肯定的な変化の実現を目指した制度的施策を引き続き継続し、『グリーン経済』の原則に基づいた高い経済成長率を確保し、環境状況を改善し、水資源およびその他の天然資源の合理的利用に関する標準を広く導入し、国民の利益を志向する行政制度の今後の改善を図るため、

1. マハッラ青年事業調整共和国委員会の決定に従い『青年のバランス』に基づき、有能で才能がある、また個別に必要とされる青年を、2024 年 3 月 1 日から省庁、地方行政機関、政府の出資を受けた企業および組織、高等教育機関の幹部に配属する。このとき、これらの幹部は以下を行う必要がある。

- 幹部に配属された青年に毎月 1 回以上会い、青年の潜在能力の発揮と問題の解決、雇用保障、需要のある職業教育を通じて人生に自分の居場所を見つけること、青年の法意識および法文化の向上に対する全面的な支援を与える。
- 然るべき組織の予算外資金および法律で禁止されていないその他の財源による必要資金を、内閣が定める手順に従い、配属された青年の潜在能力の発揮および問題の解決に使用することを許可する。

マハッラ青年事業調整共和国委員会、青年事務局 (Sadullaev A.)、また青年が配属された省庁は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

2. 『5つのイニシアチブのオリンピック』の枠内で青年の潜在能力、才能、イニシアチブを最も完全に発揮するため、

- 基金が 6 億スムの賞金を提供する知能ゲーム『Zakovat』、サイバースポーツ競技、外国語知識コンクール (Ibrat Farzandlari) を、2024 年 3 月 1 日からマハッラ、教育機関、企業および組織のシステムにおいて高い水準で組織する。
- 『青年のノート』基金の資金により、職業コンクールで勝者となった青年男女に然るべき場所における整備された工房を青年事務局および地方行政府が提供するという慣行を導入する。

青年事務局 (Sadullaev A.) は本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

3. 健康的な生活習慣の宣伝およびエコロジーといった社会的に重要な分野における 100 件のボランティアプロジェクトに対して第 1 段階で最低賃金の 200 倍の額までの資金を競争に基づいて拠出する手順の導入に関する、青年事務局、エコロジー・環境保護・気候変

動省、経済・財務省の提言に同意する。

4. 青年に事業活動を広く普及させるため、また事業に取り組む機会を増やすため、

a) 家族経営プログラムの枠内で提供される融資の40%以上を青年事業活動の振興に充てる。

b) 『青年実業家』コンクールを実施する慣行を2024年6月1日から導入し、これにあたっては以下とおり定める。

- 『マハッラ - 地区 - 州 - 共和国』の各段階で、青年の有望な事業計画および構想に係る競争選抜を青年事務局が実施する。このとき身体障害のある青年実業家の計画および構想には特別な配慮を払う。
- 共和国段階で選抜を通過した各プロジェクトに最低賃金の100倍の額まで低利融資を提供する。
- 青年実業家支援基金の負担により、勝者となった事業計画および構想の作成者を研修のため外国に派遣する。

青年事務局 (Sadullaev A.)、商工会議所 (Vakhabov D.)、ウズベキスタン身体障害者協会は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

5. 『各マハッラから2人のプログラマー』プログラムを2024年3月1日から導入する。

これにあたって当該プログラムの枠内で、以下を定める。

- マハッラ青年リーダーがマハッラ活動家の協力を得て情報技術およびコンピュータプログラミングに興味のある青年を見つけ出し、この青年が英語およびその他の外国語の教育を受けて証明書を受領するよう手配し、証明書を受領した青年に関する情報をデジタル技術省の専用情報システムに定期的に記載するという慣行を導入する。

デジタル技術省および雇用・貧困削減省は、専用情報システムに情報が記載された青年をIT分野で活動している組織に派遣する、また彼らの就職を支援する施策を講じる。

ウズベキスタンマハッラ協会 (Kuranbaev K.)、青年事務局 (Sadullaev A.)、デジタル技術省 (Shermatov Sh.)、またカラカルパクスタン共和国閣僚会議、州およびタシケント市の各行政政府は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

6. 2024年3月1日から

- 『青年のノート』基金の資金を青年の外国語および職業教育に充てる慣行を導入する。
- 青年に現代的な職業を教える特別プラットフォーム『Ustoz』を始動し、これを通じて初期段階で25万人の若者を取り込む。
- 事業活動、マーケティング、グラフィックデザインといった現代的な職業を若い女性および女子に教えるプラットフォーム『女子アカデミー』を始動し、これを通じて彼女らのために様々なコンクール、プロジェクト、合宿、研修を手配する。

雇用・貧困削減省 (Musaev B.)、家族・女性委員会 (Parpiboeva O.)、青年事務局 (Sadullaev A.) は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

7. 国民経済を発展させる主要因であるビジネスにとってより好適な条件を整備するため、

『事業支援プログラム』の枠内で、以下に係る必要な条件を 2024 年末までに整備する。

- 総合支援策を実施し、国民 200 万人をビジネスへ参入させる
- 新たな雇用を創出し、国民 500 万人に雇用を提供する

Kuchkarov D.A.副首相は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

8. 有名国際ブランドの製品を生産する企業を対象に 2024 年 7 月 1 日から、

- 国際標準の導入および環境認証の費用を補填する手順を導入する。
- 現地生産率が最低でも 60%に達していることを条件に、有名国際ブランドで生産される製品に必要な全ての原料に対して関税を免除する。
- 生産技師、デザイナー、マーケティング専門家といった有名国際ブランドの招致された専門家からウズベキスタン共和国での就業許可の発行に対する料金を徴収することを廃止する。

商工会議所 (Vakhobov D.)、投資・産業・商業省 (Kudratov L.) は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

9. 法律のみに基づき国民および事業者を対象とした新しい義務的納付金および賦課金を定める慣行を 2024 年 5 月 1 日から導入する。

10. 広範なパブリックコメントの過程で出された提言に基づき立案された『青年および事業のサポート年』における『ウズベキスタン 2030』戦略の実施に関する国家プログラム (以下、国家プログラムという) の枠内で、以下を承認する。

- 別紙 1~5 に記した方針に則した 2024 年度の実践活動計画
- 別紙 6~10 に記した方針に則した 2024 年度に立案すべき規范文書案の一覧

これに際して、方針に則した 2024 年度の目標値が 2023 年 9 月 11 日付ウズベキスタン共和国大統領決定第 PP-300 号「2023 年度における『ウズベキスタン 2030』戦略の良質かつ速やかな実施に関する措置について」によって承認されたことを考慮に入れる。

11. 2024 年に各人が潜在能力を発揮できる条件を整備する方針の枠内で、

- 1000 の普通中等教育機関に知識を評価する大統領学校および専門学校の制度を追加導入し、科目ごとの実習の割合を 60%まで増やす。
- 40 歳以上の 670 万人を対象に、心血管疾患、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患のリスクがないかを調べる予防検診を手配する。
- 7,500 人の青年および女子に現代的な職業を教え、国際的な試験制度で外国語の成績が良かった 6,000 人の若者に試験費用を補填する。
- ランニング、サッカー、バレーボール、卓球、チェス、国技およびベルトレスリングといったスポーツの競技会およびマラソンを組織することで、1,000 万人をスポーツに引き込む施策を講ずる。
- 2024 年にパリで開催されるオリンピック競技およびパラリンピック競技への参加を成功させるため、140 人以上の出場資格を勝ち取れるよう、タシケント市、アンディジャン州、タシケント州にある 15 のオリンピック・パラリンピックセンターおよび 14 のスポーツ用合宿施設にあらゆる必要な条件を整備する。

就学前教育・学校教育省 (Umarova Kh.)、保健省 (Khudayarov A.)、雇用・貧困削減省 (Musaev B.)、青年事務局 (Sadullaev A.)、スポーツ省 (Ikramov A.)、ウズベキスタン国家オリンピック委員会 (Kasimov O.)、ウズベキスタン国家パラリンピック委員会 (Tashkhodzhaev M.) は、それぞれ本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

12. 以下を定める。

a) 2024/2025 学年度から

- 『私の学校』プロジェクトが、カラカルパクスタン共和国、州、タシケント市の1地区(市)で試験的に実施され、この枠内で国家予算から最低賃金の150倍に相当する額の資金が学校に拠出され、5~11年生の選択によって電子黒板、コンピュータ、スポーツ用具、書籍といった彼らが使用する学校に必要な品物が決められる。
- 普通中等教育機関校長の管理者認定制度が導入される。これに併せて、校長に求められる資格要件を具体的に定めると共に、当該者に対する5年に1回の評価を実施する必要がある。

b) 2025年1月1日から就学前教育・学校教育省機構の普通中等教育機関において、高等教育・科学・イノベーション省付属の知識・技能資格評価局の国家評価制度で授与された、母国語、文学、歴史の科目で然るべき水準の証明書を有し、この科目を教えている教育要員に対して、基本給の50%に相当する額の月次追加手当が支払われる。

就学前教育・学校教育省 (Umarova Kh.) は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

13. 2024年9月1日からカシュカダリヤ州およびスルハンダリヤ州で試験的に、外部委託により、遠隔地から通う中等普通教育学校の生徒を対象とした無料バスの運行を始める。

カシュカダリヤ州行政府 (Azimov M.) およびスルハンダリヤ州行政府 (Kosimov U.) は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

14. 2024年末までの期限で必要に応じて、重篤な血液疾患、腫瘍疾患、臨床免疫疾患に苦しむ患者にパリアティブケアを行うホスピスを、各州の中心地、またタシケント市およびヌクス市に少なくとも1つずつ設ける。

これに際して、ホスピスの常時活動支援ならびに設備の構築および増強に関するプロジェクトに対して、オリィ・マジリス(国民議会)附属民間非営利団体とその他の市民社会団体支援社会基金が助成金を宣言する慣行を導入する。

カラカルパクスタン共和国閣僚会議議長、各州の知事、タシケント市長は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

15. 保健省 (Khudayarov A.) は、

a) 2024年5月1日までの期限で以下の調査計画を立てる。

- 2025年から - 高齢者における非感染性疾患のリスク要因分布率
- 2026年から就学前教育・学校教育省 (Umarova Kh.) と共同で - 学校の生徒におけるタバコ製品の使用分布率とその精神状態

b) 2024年12月1日までの期限でデジタル技術省 (Shermatov Sh.) と共同で、対話型

行政サービス統一ポータルを用いて提供される保健分野における行政サービスの数を 17 件から 24 件まで増やし、この枠内で、国民が腫瘍スクリーニング、心臓スクリーニング、内分泌スクリーニングを受けた結果に関する情報、また彼らの治療に拠出される資金に関する情報が得られるようにする。

16. 社会保障を必要とする国民の支援制度を今後改善していくため、

- 最新式の補綴整形装具およびリハビリ装置を身体障害者に与える新制度を 2024 年に段階的に導入する。
- 年金支給では個人積立年金口座からの現金受け取りに関係した行動を率先して同時に実施することを、また身体障害の認定では身体障害者に与えられる優遇措置について通知することを、それぞれ想定した手順を 2024 年 9 月 1 日から導入する。
- 然るべき分野で活動している非政府組織が国家社会保障局の資金を用いて一人暮らしの身寄りのない高齢者および身体障害者に公共サービスを提供する慣行を、タシケント市で 2024 年 12 月 1 日から試験的に導入する。

国家社会保障局 (Olloyorov M.) および経済・財務省 (Fozilkarimov O.) は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

17. ウエイトリフティング国家スポーツスクールの国際的権威の向上を目的として、全ての年齢カテゴリーの重量挙げスポーツ選手と個別に取り組む制度を設け、彼らを専門的に訓練するため、チルチク市にウエイトリフティングセンターを 2024 年に設立する。

スポーツ省 (Ikramov A.) およびウズベキスタン国家オリンピック委員会 (Kasimov O.) は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

18. 安定した経済成長により国民福祉を確保する方針の枠内で、

- 国内総生産の成長率を 6%以上とし、投資は国内総生産に対して 30%以上とすべく施策を講じる。
- 経済部門で費用にして 180 億ドルとなる 309 件の大型プロジェクトを立ち上げる。
- 年間インフレ率を 9%まで、財政赤字を 4%までとし、インフレおよび国家予算不足を次の指標で減らすべく施策を講じる。
- 41 兆スムのマイクロファイナンスサービスの提供を含め、275 兆スムの貸付資金を経済部門に供給する。
- 銀行の貸出金利を 2~3%ポイント引き下げるのに必要な条件を市場メカニズムに基づき整備する。

Kuchkarov D.副首相および中央銀行 (Nurmuratov M.) は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

19. 国家投資プログラムの枠内で中央の財源により実施される大型プロジェクトに産業連携の要件を 2024 年 4 月 1 日から導入する。

これに併せて、プロジェクトの枠内で国内企業による調達および開発が推奨される物品の一覧、また国内専門家の勧誘計画と彼らに求められる要件を定める。

投資・産業・商業省 (Kudratov L.) および経済・財務省 (Khodzhaev B.) は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

20. 『グリーン経済』に移行するのに、そして『グリーンエネルギー』の割合を増やすのに有利な条件を整備するため、共和国では

a) 2024年4月1日までの期限で

- 市場原理に基づいた『グリーンエネルギー』証明書の運用を実現する。
- 温室効果ガス国際取引プロジェクトの実施手順を承認する。

b) 気候変動分野におけるモニタリング、報告、検証（MRV）の近代的なシステムおよびデータベースを2024年4月1日から段階的に導入する。

c) 外国投資家が参加するタシケント州、カシュカダリヤ州、ブハラ州、ナマンガン州、ナヴォイ州における総出力2,700MWとなる6つの大型太陽光発電所の稼働開始を2024年末までの期限で実現させる。

経済・財務省（Norkulov I.）およびエネルギー省（Mirzamakhmudov Zh.）は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

21. 国有資産管理局（Ortikov A.）は以下に係る具体的な措置を1ヶ月以内に講ずる。

- 3ヶ月以上経っても公開入札で買い手がつかなかった国有資産の開始価格を段階的に50%まで引き下げる。
- 土地が6ヶ月間売れなかった場合、支払いの15%を3ヶ月間、残りの部分を10年間の分割払いにできるようにする。

22. 国境税関出張所での果菜類および食品の通関手続に関連した、検疫、衛生防疫、獣医学の分野における管理機能を、2024年4月1日から税関機関に移管する。

関税委員会（Mavlonov A.）は本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

23. 2024年7月1日から政府出資企業におけるコーポレート・ガバナンスの更なる改善と活動の公開性を抜本的に向上することを目的に、企業の社会的責任（CSR）また環境・社会・ガバナンス（ESG）の状況に関する報告書を、国の持分が50%以上の高額納税者が毎年7月1日までに地域社会に公開する慣行を導入する。

経済・財務省（Khodzhaev B.）および国有資産管理局（Ortikov A.）は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

24. 国内生産者支援および輸出拡大を目的として、2021年10月20日付ウズベキスタン共和国大統領決定第PP-5262号「競争力のある製品の今後の生産拡大に関する施策について」に定める製品に対する輸入関税のゼロ税率適用期間を2027年1月1日まで延長する。

経済・財務省（Khaidarov A.Ya.）および関税委員会（Mavlonov A.）は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

25. 環境保護および水資源の節約の方針の枠内で、以下の施策を講ずる。

- 2024年に全国プロジェクト『Yashil makon』の枠内で2億本以上の観賞用樹木および果樹の苗木、灌木、挿し穂を植え、共和国内に444カ所の緑の庭園を作る。
- 水路の改修に国家予算から追加で拠出された5,000億スムの範囲内で、全長1,500km以上の大型水路のコンクリート打ち作業を2024年3月1日までに完了する。

Ramatov A.副首相、水利省 (Khamraev Sh.)、会計検査院 (A. Boboev)、経済・財務省 (Norkulov I.) は、それぞれ本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

26. 砂塵嵐の対策と被害軽減の一環として、国内において

a) 2024年3月1日より

- 砂塵嵐の発生を住民に通知し、大気中に含まれる微細分散粒子の含有量が所定の基準を超えた場合に公表し、心血管疾患や呼吸器疾患に苦しんでいる人々また大気汚染に対して非常に敏感な健康状態にあるその他の国民に必要な予防措置について定期的に知らせるという慣行を地域に導入する。
- 500平方メートル以上の建設現場とそこに出入りする道路で砂および粉塵が大気中に舞い上がるのを防止する強制要求事項を導入する。
- ピーク時間帯に最大積載量 10 t 以上のカテゴリ-N2、N3、O4 に該当する貨物輸送用自動車によるタシケント市内での移動を禁じる。但し、公益事業、環境整備、ウズベキスタン共和国軍など特殊業務の貨物自動車にはこの制限が適用されない。

b) タシケント市、ヌクス市、各州の中心地での『EURO-5』以上の標準に適合しない自動車の使用を 2030 年までの期限で段階的に制限する。

エコロジー・環境保護・気候変動省 (Abdukhakimov A.)、保健省 (Khudayarov A.)、建設・住宅公益事業省 (Zakirov B.)、内務省 (Bobozhonov P.)、運輸省 (Makhkamov I.) は、それぞれ本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

27. 自動車の排気ガスが環境に与える悪影響を減らす目的で毎月1営業日のあいだタシケント市で自動車（公共交通機関、特殊業務、緊急車両を除く）の走行を減らすことを目指した『自動車のない日』社会プロジェクトに関する環境活動家および一般大衆の代表者による提案を承認する。

このときタシケント市内に建物がある全ての共和国および市の行政機関の幹部および職員は、公共交通機関で職場に来ることで自ら模範を示す。

エコロジー・環境保護・気候変動省 (Abdukhakimov A.)、運輸省 (Makhkamov I.)、タシケント市行政府 (Umurzakov Sh.) は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

28. 国民に奉仕するべく国家行政を組織し、法の支配を実現する方針の一環として、2024年5月1日までの期限で、

- 道を踏み外した若者たちを社会に統合すること、彼らが人生に自分の居場所を見つけられるよう支援することを目的として、青年同盟の保証に基づき仮釈放された若者を保護観察名簿から削除し、また彼らを保護観察名簿に登録する根拠を抜本的に削減する慣行を導入する。
- 交通規則違反に関する決定および通知のことで、対話型行政サービス統一ポータルを利用して、道路交通安全局に電子的方式で問い合わせられるようにする。

内務省 (Bobozhonov P.)、青年事務局 (Sadullaev A.)、デジタル技術省 (Shermatov Sh.) は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

29. マハツラに地域社会と国家機関の関係を繋ぐ役割を持たせるため、

- 成果物の品質について提唱者、議長、マハツラ活動家の同意が得られた場合に限り、『積極的予算』の枠内でプロジェクトを立ち上げる手順を 2024 年 4 月 1 日から導入する。
- 市民自治機関のために、『積極的予算』の枠内で実施されるプロジェクトに関する情報を国家機関および組織から得られるよう、資金を速やかに全額支給するよう求められるよう、プロジェクトの実施に対する社会的モニタリングを実施できるよう、2024 年 8 月 1 日までの期限で整備する。

経済・財務省 (Khaidarov A.Ya.) およびウズベキスタンマハツラ協会 (Kuranbaev K.) は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

30. 経済・財務省は住民がアクセスして閲覧できるよう、国家予算および地方予算の収入、支出の予定と実行に関する、財務書類に基づいた年次報告書および半期報告書を、そのウェブサイト定期的に公開する慣行を導入する。

31. 『安全で平和を愛する国家』の原則に基づいた政策を引き続き継続する方針において、サイバーセキュリティおよび疫学的安定の確保における軍および当該分野に責任を負うその他の省庁の潜在能力を抜本的に向上させるため、

- サイバーセキュリティ・インフラストラクチャの重要な要素である情報システムの評価および審査に責任を負う者の義務を省庁ごとに定める。
- 現代の脅威と経験に基づき、上記の方針による人材育成を目指した教育課程および教育方法を改善すべく施策を講じる。
- デジタルインフラおよび軍事医療インフラを改善し、最新装置および医療用機器に責任を負う省庁を段階的に整備するプログラムを国内で実施する。
- 国民の個人情報を実際に保護し、銀行および決済システムに対する詐欺を防ぐシステム、また最新の生体認証システムを導入する。

防衛省 (Kurbanov B.)、内務省 (Bobozhonov P.)、デジタル技術省 (Shermatov Sh.)、中央銀行 (Sadullaev N.) は、本項の完全、良質、無条件な履行に対して責任を負うものとする。

32. 以下のとおり定める。

- 戦略的改革局は法務省および会計検査院と共同で、実践活動計画の履行に対するシステム監視を実現し、目標値を達成し、『ウズベキスタン 2030』戦略枠内の方針に従い然るべき規范文書案を立案する。
- 『発展戦略』センターおよび『Yuksalish』運動は、現場視察を伴い、また世論を考慮しながら、国家プログラムの進捗状況を定期的に厳しく調査し、結果に応じて、然るべき情報をウズベキスタン共和国大統領府に毎月提出する。

国家権力機関、省庁、また現地の行政機関は、本項を履行すべく『発展戦略』センターおよび『Yuksalish』運動の活動に全面的な支援を与える。

33. 内閣は

- 各月の結果に応じて、国家プログラムの進捗状況に関する情報を総括し、ウズベキ



スタン共和国大統領府に報告する。

- 各四半期の結果に応じて、国家プログラムで課せられた課題の適時、完全、良質な履行について内閣幹部会会議で厳しく審議する。
- 半年ごとに国家プログラム履行報告書をオリィ・マジリス（国民議会）立法院に提出する。

34. 情報・マスコミ局（Khodzhaev A.）、ウズベキスタン国営テレビ・ラジオ会社（Dzhurabaev A.）、ウズベキスタン国家情報局（Kuchimov A.）は、マスメディアと共同で、以下を常時確保する。

- インターネットおよびソーシャルネットワークを含めたマスメディアで 2024 年度の『ウズベキスタン 2030』戦略の実施結果を広報し、またその核心と内容を社会に説明する。
- 『ウズベキスタン 2030』戦略の枠内で実施される全ての施策の過程と結果に関する客観的かつ完全な情報を住民に速やかに知らせる。

35. 省庁の幹部、カラカルパクスタン共和国閣僚会議議長、各州の知事、タシケント市長は、本大統領令の効率的な履行手配に対して個人責任を負うものとする。

本大統領令の履行状況に関する定期的な審議、その履行に責任を負う組織の活動に対する監督および調整の実施は、『ウズベキスタン 2030』戦略実現共和国委員会に委ねられる。

実施された施策に関する情報は四半期ごとにウズベキスタン共和国大統領に提出されなくてはならない。

ウズベキスタン共和国大統領

Sh. Mirziyoyev

タシケント市

別紙はウズベク語で記載